

展示 PICK UP

■2F パープルゾーン【江戸・東京】の本を集めたゾーン ~9月16日(金)

「江戸・東京入門」



パープルゾーンでは東京・江戸について書かれている資料を集めています。入門となる本から専門的な内容の本まで多種揃えています。その中から今回は携帯にペリリな新書と文庫を並べました。移動時間やスキマ時間に楽しんでください。



『大東京23区散歩』

- 泉麻人 著
- 村松昭絵
- 講談社文庫
- 2016年

文庫や新書について解説している本も並べています。



『新編古本屋の手帖』

- 八木福次郎 著
- 平凡社
- 2008年



『江戸から東京へ大都市TOKYOはいかにしてつくられたか?』

- 津川康雄 監修
- 実業之日本社
- 2011年

9月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「江戸・東京入門」(~9/16)

2F パープルゾーン 三角台 「まだ見ぬ世界へ」(~9/16)

2F エレベーターホール 日比谷カレッジ 「時をかけて、映画音楽の歴史の旅へ ~チャップリンから現在まで、映画と音楽の素敵な関係~」 関連展示『映画と音楽』(~9/12) **NEW!**

3F ブルーゾーン 「深夜感覚 真夜中から夜明け」(~10/14)

3F グリーンゾーン 「緑の本棚」(~9/16)

■2F パープルゾーン 三角台 ~9月16日(金)

「まだ見ぬ世界へ」



コロナ下から徐々に日常を取り戻しつつあるとはいえ、まだまだ自由はどこへでも行けるわけではありません。そこで、この展示では、紀行文や冒険小説、写真集など旅にまつわる資料を展示し、北極やエベレストや宇宙など、簡単には行けない場所や、過去の世界や未知の世界、偉大な冒険家たちの足跡を記した資料などを通して、様々な場所への旅を疑似体験していただきます。この夏は、図書館でひと味違う夏休みの旅行を体験してください。



- ### 『ロスト・シティズ』
- デイヴィッド・グラン 著
 - NHK出版
 - 2010年



- ### 『劔岳一線の記』
- 高橋大輔 著
 - 朝日新聞出版
 - 2020年

■2Fエレベーターホール ■3Fガラスケース ~9月12日(月)

〈日比谷カレッジ〉

「時をかけて、映画音楽の歴史の旅へ ~チャップリンから現在まで、映画と音楽の素敵な関係~」 関連展示

「映画と音楽」



映画と音楽の関係はサイレント映画からトーキー映画へと変化した時から、共に進化発展してきました。そんな二つの関係性がわかる本と共に、「時をかけて、映画音楽の歴史の旅へ~チャップリン

から現在まで、映画と音楽の素敵な関係」日比谷カレッジ講師の志田一穂氏よりお借りした映画サウンドトラックのジャケットや、公開時のパンフレットなどを展示し、映画音楽の歴史の旅へと誘います。



2Fエレベーターホールでは図書資料を中心に展示。



講師所有の貴重な映画関連グッズ。

▶▶▶入館の際は、手指消毒・検温、マスク着用のご協力をお願いいたします。

2022年
9月16日(金)
開幕!
~11月15日(火)
休館日:9月19日(月)、
10月17日(月)

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

日比谷図書文化館 特別展

学年誌100年と玉井力三

—描かれた昭和の子ども—



『小学三年生』(1970年4月号)と玉井力三による表紙原画

◎開室時間:月~木・土10:00~19:00、金10:00~20:00、日・祝10:00~17:00 (入室は閉室の30分前まで) ◎会場:日比谷図書文化館 1階特別展示室 ◎観覧料:一般300円、大学・高校生200円(千代田区民・中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方および付き添いの方1名は無料) ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳などをお持ちください。◎主催:日比谷図書文化館 ◎特別協力:小学館 ◎協力:(一財)日本児童教育振興財団 ◎玉井力三応援団長:山下裕二

●関連講座 ● 8月31日(水)10時~受付開始

9/23 (金・祝) 商業美術家の逆襲 —玉井力三の場合

- 日時:9月23日(金・祝)14:00~15:30(13:30開場)
- 講師:山下 裕二(美術史家、明治学院大学教授)

10/22 (土) 表紙と付録で振り返る 学年別学習雑誌の100年

- 日時:10月22日(土)14:00~15:30(13:30開場)
- 講師:野上 暁(児童文学、文化評論家)

1922(大正11)年に初めての学年別学習雑誌『小学五年生』と『小学六年生』が創刊されました。その発行部数が最も多かった1950年代から70年代にかけて、表紙画を手がけたのが、玉井力三です。本展では、玉井力三の表紙画を中心に学年誌の100年を追いかけます。児童雑誌という一つのメディアを通じて、子どもたちを取り巻いてきた文化の追体験をお楽しみください。

●みどころ●

表紙で振り返る「学年誌」の100年史

他の国にはない、日本独自の出版文化である「学年誌」。誕生からの100年の歩みを豊かな資料と共に振り返ります。

表紙画家 玉井力三

1950年代から70年代にかけて表紙画を手がけ、その数は1500点あまり。玉井の正確なデッサンとリアルな描写力で描かれた原画をそのテーマや時代の象徴を読み解きながら味わいます。

みんな遊んだ、懐かしの付録たち

子どもたちにとって楽しみだった学年誌に毎号付いてくる付録。時代とともにどのような付録が子どもたちに楽しまれていたのでしょうか。付録から児童文化の変遷を見ていきます。

〈各回共通〉

- 会場:地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費:各回1000円(千代田区民 各回500円)

※詳細・申込み方法はホームページをご覧ください。

calendar 開館時間:平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2022年 9月							2022年 10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29

! 掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



access

- 〔都営地下鉄〕
 - 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
 - 〔東京メトロ〕
 - 丸ノ内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
 - 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
 - JR「新橋駅」徒歩10分
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

9・10月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座は事前申込み順です。定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

9/2 (金) 時をかけて、映画音楽の歴史の旅へ ～チャップリンから現在まで、映画と音楽の素敵な関係～

講師：志田 一穂(ラジオDJ)

サイレント映画からトーキー映画へと映画に歴史があるように、映画音楽にも時代と共に変化してきた流れがあります。オーケストラやジャズやソウル、ロックなど、それらは時代の動きによって巧みに進化しながらも、多くの傑作を残してきました。映画音楽はかく語りき。往年の名画から近代の作品まで、その歴史を巡る旅へ、実際に映画音楽を聴きながら、解説と共にご案内します。

- 日時:9月2日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円



9/9 (金) 千代田区内ミュージアム連携企画 展覧会への入口講座 Vol.33 「Gabrielle・シャネル展 Manifeste de mode」のみどころ

講師：安井 裕雄(三菱一号館美術館 上席学芸員)

Gabrielle・シャネル(1883-1971)は、「20世紀で最も影響力の大きい女性デザイナー」といわれ、シャネルの仕事に焦点を当てた回顧展が日本で開催されるのは32年ぶりのこととなります。ガリエラ宮パリ市立モード美術館で開催された展覧会の国際巡回展として、リトル・ブラック・ドレスと香水「シャネル N° 5」をはじめ、コスチューム・ジュエリーそしてテラード・スーツを紹介し、シャネルのクリエイションの魅力へと誘います。

- 日時:9月9日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円(千代田区民500円)

写真) Gabrielle・シャネル テラードのジャケット、スカート、ブラウスとベルト 1965年春夏 ウールツイードと絹シエール、手彩色のガラリット、絹ガーゼパリ、ガリエラ宮 ©Julien T. Hamon



9/24 (土) 千代田区民講座 ハチ ～私たちの食生活を支える小さな農夫さん

講師：阿部 宣男(理学博士)

私たちが食しているトマト・ナス・イチゴ・メロン・サクランボ・ブルーベリーなどは、ハチが授粉しています。しかし、そのほとんどが輸入されている特定外来生物のセイヨウオオマルハナバチです。これを、在来種に転換して、クロマルハナバチに使用することが必要です。より環境にやさしい、安心安全な農業のあり方をお話します。(主催:NPO法人 神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:9月24日(土)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:60名
- 参加費:無料 ※千代田区民は8月20日(土)から、区民以外は8月27日(土)から受付開始。



9/29 (木) 漢字と植物の微妙な関係～牧野植物学へと至る道～

講師：円満字 二郎(フリーライター)

日本植物学の父、牧野富太郎は、植物を表す漢字の中には日本語と中国語で異なる植物を指すものがあることを、よく指摘しています。では、そういう違いはなぜ生じ、どのようなきっかけで意識されるようになったのでしょうか？ 漢字と植物をめぐる奮闘の歴史をたどります。

- 日時:9月29日(木)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円



10/2 (日)他 日比谷オペラ塾 「オペラ・あ・ら・かると」(全3回)

「日比谷オペラ塾」の新シリーズは多様なオペラの魅力を縦横に紹介する「オペラ・あ・ら・かると」。10月は昨今人気のバロック・オペラの魅力を、11月はオペラ化されたシェイクスピア作品の魅力を、12月はヴェルディが魅せられ、また名作を生み出したパリとの関係をお話します。(主催:フェニーチェ劇場友の会、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:10月2日(日)14:00～15:30(13:30開場)
- 「バロック・オペラ」を旅する 講師:朝岡 聡(コンサート・ソムリエ)

11月13日(日)14:00～15:30(13:30開場)

「オペラが恋したシェイクスピア」講師:石井 美樹子(英文学者)

12月4日(日)14:00～15:30(13:30開場)

「ヴェルディは、パリがお好き？」講師:岸 純信(オペラ研究者)

- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回60名
- 参加費:各回1500円 ※各回申込が可能です。



ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685-1759)

10/5 (水) 日本の鉄道150年 鉄道都市東京の成立

講師：小野田 滋(土木学会フェロー)

明治から東京は、鉄道網の整備が推進され、交通機関としてはもちろん、都市の骨格形成や街づくり、人々のライフスタイルなどにも大きな影響を及ぼしました。首都圏における鉄道網の整備がどのように行われ、どのような影響を与えてきたかを振り返ってみたいと思います。

- 日時:10月5日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円



10/12 (水) 翻訳者が語る 世界文学への旅3

ハン・ガンの詩と小説を通して 韓国文学を読み解く

講師：斎藤 真理子(韓国語文学翻訳者)

読書好きの人の間で韓国文学への関心が高まっています。ハン・ガンは世界で最も注目されている韓国作家で、小説と詩の両方を書いており、同じモチーフが長編小説、短編小説、詩のいずれにも登場したりします。ハン・ガンの小説3冊と詩集『引き出しに夕方をしまっておいた』(きむふなさんとの共訳)を担当した翻訳者が、韓国文学における詩の大切さや、個人の痛みと社会の痛みが交錯するハン・ガン作品の特徴、ひいては現代韓国文学の根底にあるものについて考察します。

- 日時:10月12日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円



撮影:Yuriko Ochiai

10/16 (日) 生誕150年を迎えた千代田ゆかりの三人の文豪たち～島崎藤村・樋口一葉・岡本綺堂～

講師：新井 巖(千代田区文化芸術協会理事)

千代田区にゆかりのある多くの文人たちの中でも、今年生誕150年(明治5年)を迎えた三人の文人、島崎藤村、樋口一葉、岡本綺堂にスポットを当てて、彼らの千代田区との関わりや意外な関係性についてエピソードを交えながら解説します。(主催:千代田区文化芸術協会、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:10月16日(日)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円(千代田区民500円)



島崎藤村(1872-1943)

10/20 (木) 美術鑑賞への入口講座 Vol.2 美術館をさまざまな視点で愛でる～あえてひとりで行く美術館～

講師：浦島 茂世(美術ライター)

美術館の楽しみ方をさまざまな角度からお知らせするシリーズ第二弾。今回は、ひとりで美術館に行ったときの鑑賞法や楽しみ方、ひとりだからできること、間のもたせ方に加え、あえてひとりで行きたい全国おすすめ的美術館をお伝えします。もちろん、いつもひとりで美術館を訪れる方も大歓迎!

- 日時:10月20日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:40名 ■ 参加費:1000円 ※9月10日(土)から受付開始。



10/23 (日) 牧野富太郎の生涯とゆかりの植物を楽しむ

講師：伊藤 千恵(練馬区立牧野記念庭園学芸員)

牧野富太郎博士は、1862年に高知県佐川村に生まれ、ほぼ独学で植物の知識を身につけ、新種や新品種など1500種類以上の植物を命名し、日本の植物分類学の基礎を築いた一人とされています。講演では博士の94年の生涯を紹介するとともに、命名植物であるヤマトグサ、ヤッコソウなどの博士ゆかりの植物を紹介します。

- 日時:10月23日(日)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:40名 ■ 参加費:1000円



牧野富太郎博士(個人蔵)

10/27 (木) お江戸ルバーリー文化講座⑩

もっと知りたい! 徳川家康 ～家康公の江戸⇄東京まちづくり～

講師：堀口 菜純(歴史タレント、歴史作家)

過去に一度も都市化していなかった江戸を、徳川幕府は開府からわずか100年で100万人都市に成長させました。それは初代将軍・家康のまちづくりが基盤となっています。1590年の江戸入城からの家康によるまちづくりを振り返り、天下泰平の世を築いた家康のお膝元・江戸における施政や、現在の東京でその地がどうなっているかも見ていきます。(主催:株式会社ネットアドバンス、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:10月27日(木)14:00～15:30(18:30開場) ■ 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:200名 ■ 参加費:1000円



From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのおしらせ】



「第7回 千代田区子ども読書調査」で見えた

ちよだの子どもたち

千代田区立の小・中学校を対象に行った「第7回 千代田区子ども読書調査」の結果を基に、子どもたちの読書傾向や、人気のあった本などをパネルで紹介するとともに、関連書籍を含めて約180冊を展示・貸し出します。

※「第7回 千代田区子ども読書調査」調査期間:2021年11月1日～19日
対象者:千代田区立の小・中学校の児童・生徒1,592名

会期：開催中～10月22日(土)

※8月28日(日)・9月25日(日)は休館

場所：千代田図書館9階 展示ウォール

◆古文書塾てらこや◆2022年9月開講講座

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。

	講座名	曜日・時間	開講日
入門コース (全5回) 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月)10:30～	9/26
		(月)13:30～	9/26
		(火)10:30～	9/27
		(木)13:30～	9/22
		(金)13:30～	9/16
本科コース (全5回) 120分	文人画と碑文―掛軸を読む	(金)18:30～	9/16
		(月)18:30～	9/26
		(火)10:30～	9/20
		(火)13:30～	9/20
		(日)13:30～	9/18
特別講座 (全5回) 90分	武家文書を読む―幕府崩壊事情	(水)13:30～	9/14
		(土)13:00～	9/17
		(火)19:00～	9/13
		(木)10:30～	9/15
		(木)18:30～	9/15
特設 月1回コース (全3回)120分	江戸を楽しむ―江戸の寺社あれこれ	(金)18:30～	9/16
		(土)10:30～	9/24
		(火)14:00～	9/30
		(金)11:00～	9/30
		『源氏物語 若紫』を読む[異文を楽しむ講座]※	

※ [異文を楽しむ講座]は90分

■ 会 場：4階スタジオプラス(小ホール)、4階セミナールーム(会議室)

■ 定 員：各23名(事前申込順)

■ 参加費：【入門コース】【本科コース】各回3,360円(別途資料代500円)

【特別講座】各回2,730円(別途資料代500円)

【特設月1回コース】【翻字者育成講座】各回3,360円(別途資料代300円)

【異文を楽しむ講座】各回2,730円(別途資料代300円)

●特設月1回コースには別途テキスト 国文学研究資料館蔵『源氏物語 若紫』(税込1,540円 2016年新興社)が必要です。(当館での用意も承ります。)●受講料は各回でのお支払い(現金のみ)をお願いいたします。なおテキスト代は、初回に一括でお支払いとなります。●てらこやに関する資料をご希望の方には無料でご送付いたします。

■ 資料請求・講座のお問い合わせ:

電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館 古文書塾てらこや 担当迄

▼開催中～9月30日(金)まで ※休館日:9月19日(月・祝)

特別研究室 企画展示

100年後も手に取れる本に ～内田嘉吉文庫修復報告2022～

2021年度、日比谷図書文化館特別研究室は内田嘉吉文庫を中心に22点の所蔵資料の修復を行いました。19世紀の大型地図書や戦前期の旅行案内、折本の写真集など様々な種類の資料が安心して手に取れるよう修復されました。修復家による創意工夫を凝らした修復過程の記録を公開し、修復された資料を展示しています。長期間活用することを考え、より使いやすくなった蔵書をぜひご覧ください。

●主な展示図書

『朝鮮鉄道史 第一巻』(1929年) 『満蒙と満鉄』(1926年)

『太平洋問題』(1927年) 『Periplus』(1872年)ほか

●開室時間:平日10:00～20:00、土曜10:00～18:00、日曜・祝日10:00～16:00

●会場:4階特別研究室

●入場無料